

～ 地域をつなぐピアノ ～  
「ス タ イ ン ウ ェ イ」  
寄贈 100 周年記念演奏会



- 1 日時  
10月14日(火)  
午前8時35分～  
午前10時10分
- 2 場所  
梓川小学校体育館

～梓川小学校 音楽室のピアノ～



STEINWAY & SONS

世界中のトップピアニストが愛用するスタインウェイ&サンズ。  
大正14年、旧倭村の倭尋常小学校に13人の方々から寄贈されたものです。  
昭和48年、倭小学校と梓小学校が統合して梓川小学校になった以降も音楽室で使用されてきました。

平成9年に修復されてからも、ローズウツドの明るい木目調も鮮やかなピアノは、当時から現在まで3世代を超える児童たちに使われてきました。

今年は、寄贈から100年を迎えます。そこで、梓川小学校と地域の皆さんで演奏会を開催します。

### 3 演奏会 ピアノ演奏者・鑑賞者募集

演奏会は2部構成で、第1部は梓川小学校関係者の演奏会、第2部は地域の方の演奏会とし、ピアノ演奏者を募集します。

**応募締切 9月17日(水)** 1人1曲の予定です

※希望者が多い場合は抽選させていただきます。

鑑賞希望の方も、人数把握のためお申し込みください。

申込方法

電話  
78-3000

WEB



裏面に続く

記念交流事業実行委員会(梓川地区地域づくりセンター)  
電話 78-3000 FAX 78-3942  
E-mail: azusagawa-s@city.matsumoto.lg.jp

## 4 寄贈者について

ピアノには寄附者芳名が残されています。

寄附総額は2,630円。

当時はがき1枚の値段が1銭5厘(1円=100銭)。

倭村の大正15年度決算48,509円、昭和2年度予算49,484円と梓川村誌に記載



されていますので、スタインウェイの購入費用(寄附金)の大きさがわかります。

なぜ、オルガンでさえ貴重な時代にドイツ製の高級なグランドピアノが倭小学校に寄贈されたのか、平成6年の梓川村公民館報には、当時倭尋常小学校において、特に音楽教育に熱心だった米久保耕策先生の働きかけが大きかったと記載されています。

その頃、梓小学校には近隣で最も早く明治44年個人寄贈のヤマハ製ピアノがあり、三郷の温明小学校では大正13年、スタインウェイピアノが130人以上の協力者の寄附で購入されています。どちらもアップライトピアノだったので、松本平には1台しか無かったスタインウェイグランドピアノを選定したようです。

寄附者13人は、次の方々です。

小松傳次郎	加藤 長重	中澤 盛人	木村 次郎	白澤 道一
降旗 謙一	岩岡 巽	塚田 胤治	藤岡 武成	小澤 定雄
森 清晃	森 鉞男	上條 徳市		

平成6年の梓川村公民館報には、寄附者2人の方に関する記事があります。

岩岡 巽(いわおか たつみ)さん

倭小学校前に居住していた。東京に出て、鶯谷の駅前で東京映画社を経営しており、そのころ寄附したものだろとうのこと。

2023年に製作されたドキュメンタリー映画「カメラを持った男たち - 関東大震災を撮る -」では、関東大震災で倒壊し火の手のあがる東京下町を必死に駆けずり回った3人のカメラマンに焦点があてられています。その中の1人が岩岡巽さんです。

森 清晃(もり きよあき)さん 本名 森 直蔵(なかぞう)

倭村横沢生まれ。家は倭小学校前で薬店を営んでいた。大正10年松本駅前でタツミ亭を開業。昭和22年清晃とあらため、完全普通選挙が実現した第1回の松本市議会議員選挙にトップで当選、3期12年を務める。

13人の方々について、情報をご存じの方は教えてください。

情報提供方法

電話

78-3000

WEB



記念交流事業実行委員会(梓川地区地域づくりセンター)

電話 78-3000 FAX 78-3942

E-mail: azusagawa-s@city.matsumoto.lg.jp